

## 学校教育目標



夢 に向かっていく生徒  
命 を大切に作る生徒  
絆 を互いに深め合う生徒



# 須和田が丘

令和5年度  
学校だより No. 14  
令和5年 11月 14日

市川市立第二中学校  
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

## 4年ぶりの全校一斉「合唱祭」

10月13日(金)、合唱祭が開催されました。1学期から少しずつ練習をはじめ、実行委員を中心にいろいろな準備をし、10月に入ってからの「合唱週間」では全てのクラスが最後の仕上げに全力で取り組んできた合唱祭…いよいよ本番です。

朝、各クラスで最後の声だしをし、本番に向けて気持ちを作ります。徐々に高まる緊張感と戦いながら体育館に入場……講師紹介などの開会式を終えると、まずは2年生の発表です。

学年合唱は「いざたて戦士よ」。男女のバランスがよくとれた、爽やかな歌声が体育館全体を包み込み、合唱祭の雰囲気を作ってくれました。

クラス発表は、どのクラスも2年生らしい安定した合唱を披露。それぞれのクラスの特徴やこだわりがちゃんと感じられる、とてもいい仕上がりの発表です。男女どのパートも音程が正確で、一人一人が自信を持って歌っていることが、表情からも伝わってきます。

次は1年生の番。学年合唱は「校歌」です。元気があって、声量は2年生に引けをとりません。学級発表に移っても、どのクラスもとてもよく声が出ていて、楽しそうに歌います。1年生らしい初々しさがありながらも、堂々とした歌声で会場を感心させました。

そして……いよいよ3年生の登場です。まずは学年合唱……無伴奏で始まる「言葉にすれば」は、最初から聴くものの心を驚かすほどの圧倒的な迫力でした。それぞれのパートの、全員の気持ちがこもった声の塊が、合わさり、溶け合って会場を満たします。感動を通り越して心が震える、この日、この集団にしか作り出せない、圧巻の「作品」でした。

このブロックのクラス発表のトップバッターは白百合学級。少人数ながら全員が全身で声を出して、「桜散る頃」を一生懸命歌います。みんな上手ですが、特に一人で頑張った女性パートは、音程、声量、表現力とも素晴らしく、個性豊かな男性パートとよく調和していました。

3年生のクラス発表。やはりこれまでの発表とはレベルの違いを感じさせる、素晴らしい合唱でした。どのクラスも、声の伸び、厚み、曲想……男女どのパートも申し分なく、互いに響きあって美しく力強いハーモニーを作り出していました。それぞれのクラスに個性があって、伝えたい思いが感じられて…心に響きました。

全てのクラスが発表を終えると、最後は「風になりたい」を全校で歌います。

「当初は予定になかった全校合唱を、『全校生徒の心を一つにしたい』という思いで提案したのは、僕たち生徒自身です。みんなが一つになって歌いましょう」と代表生徒が呼びかけます。それに生徒全員が応えて歌い出すと、いつの間にかステージ上には、躍りながらラテンの楽器でサンバのリズムを奏でて盛り上げる、白百合学級の面々が…。全校生徒はますますノリノリで大合唱。二中生のパワーと心の豊かさを感じさせる、合唱祭の締めくくりにふさわしい盛大なパフォーマンスになりました。

4年ぶりに全校生徒が一室に会して、直接歌声を聴き合える形で開催できた合唱祭。上級生の合唱に感動し、憧れを持ち、それを目標にして次年度に繋げていく…。二中の合唱祭が新たな伝統となって繋がっていく、良い再スタートが切れた一日になりました。



学校生活の様子を、二中ブログ(HP)に掲載しています。ぜひチェックしてみてください!

